

■『ホリスティック教育/ケア研究』投稿規程

2018年制定／2019年改正／2023年改正

1. 投稿資格は、日本ホリスティック教育/ケア学会の会員とする。また、共同執筆者全員が会員である場合にのみ、共著論文の投稿が可能である。なお、依頼原稿はこの限りではない。
2. 投稿内容は、教育やケアへのホリスティックなアプローチ、およびホリスティックな志向をもつ教育やケアに関する研究とする。原稿には、①どのような意味でそれらを対象とした研究であると言えるか、②教育やケアの実践・制度に対してどのようなアクチュアルな意義を持ちうるか、について言及すること。
3. 投稿に際し、「1. 論文 2. 研究ノート 3. 実践報告 4. 書評 5. その他」の種別を記し、タイトル・氏名には英文表記も併記すること(ただし、「4. 書評」のタイトルに限り英文表記は不要)。なお、各種別の定義については以下の通りとし、すべて未発表のものとする。また、投稿原稿は、採否の結果が出るまで他の学会に重ねて投稿することはできない。
4. 原稿は電子メールによる送付を原則とする(図・表・写真については郵送も可)。

「論文」とは、上記 2 の観点についての理論的・実践的研究の成果を記述したものとする。字数は、注を含めて 20,000 字以内とする。

「研究ノート」とは、上記 2 の観点についての理論的・実践的研究に向けて、研究動向や資料等を整理・紹介したもの、あるいは、萌芽的な問題提起を行うものとする。字数は、注を含めて 20,000 字以内とする。

「実践報告」とは、上記 2 の観点に基づいて行われた実践の内容について記述したものとする。字数は、注を含めて 20,000 字以内とする。

「書評」とは、上記 2 の観点に関する比較的新しい著作物(おおむね発行後 1～2 年以内)について、紹介・批評するものとする。字数は、3,000 字以内とする。対象著作物は、会員による編著であり、寄贈図書とするが、本学会にとって有意義と認めるものはこの限りではない。

※上記の字数制限について、図表内の文字数はカウントしないものとする。ただし、図表内に掲載する内容については、代表的・典型的なデータに限定するなど必要最小限に収めること。図表の大きさの目安は、基本的に仕上がりで 1/4～1/2 頁、大きな図表は 1 頁とする。なお、規定のページ数をオーバーする場合は、図表の削除、または追加料金の支払いを求める場合がある。

5. 投稿内容については、人権および研究倫理上の配慮、改正「個人情報保護法」(2017年 5月 30日)の遵守がなされていなければならない。具体的な配慮等として、以下の点を担保されたい。
 - ◆ 実在する個人や機関を対象とする研究の場合は、執筆者が所属する機関等の研究倫理委員会の承認を得た上で、その旨を、承認番号とともに原稿中に明記していること。
 - ◆ ただし、執筆者の所属機関等に研究倫理委員会が設置されていない場合は、研究対象となる本人(必要に応じて、研究対象者の所属する機関長も含む)や該当機関の同意が担保されていること。また、その旨を、原稿中に明記していること。
 - ◆ 匿名加工情報とするなど、個人が特定されないよう配慮された記述(仮名の使用等)がなされていること。特に、要配慮個人情報については細心の注意が必要である。

- ◆ 画像・写真の引用に際しては、著作権侵害・肖像権侵害にあたらないよう配慮がなされていること。
- 6. 本誌に掲載された著作物の著作権は日本ホリスティック教育 / ケア学会に帰属する。著者自身が使用する場合は、この限りではないが、発表された論文等を他の著作に転載する場合は、事前に文書等で編集委員会の許可を得る必要がある。また、本誌への投稿は、日本ホリスティック教育 / ケア学会が、非営利目的で、論文等の著作物を同学会が管理するホームページ等に掲載することについて承諾することを前提とする。
- 7. 掲載の可否は、査読のプロセスを経て、編集委員会により決定される。
- 8. 別刷りを希望する場合は、全額自己負担とする。

■ 『ホリスティック教育/ケア研究』 執筆要綱

1. 原稿様式:原稿は原則として日本語とし、日本語以外の言語での投稿の場合は、編集委員会で協議する。
 なお、執筆にあたっては以下のフォーマットを用いること。

用紙サイズ	A4 版
ファイル形式	Microsoft Word
余白	上下 20mm、左右 30mm
配置	40 字× 40 行
フォント / 文字サイズ	表題 MS ゴシック 12pt 太字 著者名・所属名 MS 明朝 11pt 太字 大見出し MS ゴシック 11pt 太字 小見出し MS ゴシック 10.5pt 太字 本文 MS 明朝 10.5pt 英数字 Century 10.5pt
字数	論文 20,000 字以内 研究ノート 20,000 字以内 実践報告 20,000 字以内 書評 3,000 字以内
頁数	論文 仕上がりで 13 頁以内(図・表・写真・注を含む) 研究ノート 仕上がりで 13 頁以内(図・表・写真・注を含む) 実践報告 仕上がりで 13 頁以内(図・表・写真・注を含む) 書評 仕上がりで 3 頁以内

2. 原稿構成:原稿は以下の構成とすること。
- ① 表題.....必ず英文のタイトルを付す。
 - ② 著者名・所属名...著者名は姓と名の間を半角スペースとし、著者が複数名の場合は、著者名と著者名の間を全角スペースとする。また、著者名の直後に、著者名の英語表記と著者の所属名を丸カッコに入れて記す。
 - ③ 本文.....横書きとする。
 - ④ 図・表・写真について...図・表・写真はいずれも白黒に限る。
 - ⑤ 注.....本文中に入れず、原稿の最後にまとめる。

なお、注は、引用文献を示すものではなく、本文の内容を補足するものに限る。引用文献については、参考文献リストのなかでまとめて示し、本文中では、著者名、発行年、引用頁を明記する形で表記すること

とする。

本文中の表記例

- ・金田(2004:99)によれば.....
- ・「.....」(金田 2004:99)

参考文献リスト中の表記例

- 論文の場合:著者、論文名、雑誌名、巻号、刊行年、頁

【和文の例】

成田喜一郎「協働エスノグラフィー懐かしい未来との対話 —ラダックの暮らしと私たち」『ホリスティック教育研究』
第 20 号、2017 年、1-20 頁

【欧文の例】

Swanson, K. M., Empirical development of a middle range theory of caring, *Nursing Research*, 40(3), 1991, 161-166.

- 単行本の場合:著者、書名、発行所、刊行年

【和文の例】

吉田敦彦『世界のホリスティック教育—もうひとつの持続可能な未来へ』せせらぎ出版、2009 年

【欧文の例】

Nakagawa, Y., *Education for Awakening: An Eastern Approach to Holistic Education*, Foundation for Educational
Renewal, 2000

- ウェブサイトの場合:「サイト名」ウェブサイトアドレス(最終閲覧日)

【例】

「日本ホリスティック教育 /ケア学会」<https://www.holistic-edu-care.org/>(2019 年 1 月 21 日)

3. 投稿方法:投稿に際しては、原稿(Word ファイル及び PDF ファイル)をメールにて提出する。

原稿内に使用した図・表・写真は、JPG、PDF の元画像を同送すること(推奨)。

4. 校正:原稿の校正は、投稿者の責任において行い、再校までとする。また、内容や組版に影響する大きな変更は認めない。

5. その他:執筆上不明な点は、編集委員会に問い合わせること。問い合わせ先は、下記の申し込み・投稿アドレスと同じ。

■ 申し込みおよび投稿の締め切り

投稿申し込み締め切り 当該年 7 月末日(厳守)

※申し込み時からの大幅なタイトル変更があった場合、不受理となることがある。タイトル変更については、投稿の際に連絡すること。

原稿締め切り 当該年 9 月末日(厳守)

※原稿締め切り日を過ぎても投稿がない場合、確認のメールは送らない。投稿後 3 日たっても受領メールがない場合は、下記アドレスに問い合わせること。

刊行予定 翌年 5 月

■ 投稿申込書および原稿の送り先 holistic.kiyou@gmail.com

■ 投稿申込書フォーム

原稿タイトル:

原稿区分 : 1. 論文 2. 研究ノート 3. 実践報告 4. 書評 5. その他

予定字数 : 字

氏名 :

所属 :

連絡先 : (電話番号)

(メールアドレス)